

第4回 藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議 議事要旨

■日 時：2018年（平成30年）7月26日（木）午後3時00分から午後5時00分まで

■場 所：藤沢市役所本庁舎 3階3-3会議室
（神奈川県藤沢市朝日町1-1）

■出席者（敬称略、50音順）

会 長：柳沢厚

副会長：岡村敏之

委 員：相澤光春、浅井了之、石井博之、石渡悠祐、大矢卓嗣、川崎隆之、北村和利、
幸嶋規之、小林寿美恵、柴田賢一、竹村裕幸、辻健太郎、長瀬輝行、西村靖生、
林正行、三浦久、三上雅之、山田秀幸、渡部直樹

事務局：藤沢市 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当、株式会社日建設計

■議事次第

1. 開 会

2. 議 事

（1）これまでの意見まとめ

（2）南口駅前広場再整備の方針について

3. その他

■議事概要：

○昨年度まで開催されたあり方検討会・交通調整会議において出された南口駅前広場に対する意見のまとめを説明し、その後事務局でまとめた南口駅前広場再整備の方針を説明した。方針の中では、将来的に想定できる駅前広場のパターンを示し、各パターンのメリット・デメリットを示した。その内容を踏まえて、今後の具体的な駅前広場の検討に向けて、再整備の方針に対する意見交換を行った。意見交換の概要は次のとおりである。

< デッキについて >

- ▶ 駅からの動線としてデッキがある前提でビルを建てているため、将来的にもせつかくあるデッキは活かしていただきたい
- ▶ 2階部分に乗換もあり、自由通路も今後整備されることを考えるとデッキレベルに歩行者動線がある方が周辺の商業に対しても有効なのではないか。
- ▶ 駅の改良と合わせてデッキについても検討すべきではないか。小田急線の橋上化によって、人の流動も自由通路も2階レベルが中心になるのではないか。
- ▶ デッキを撤去しても、改めて地上部をきれいに整備すれば、人はそちらから入ってくるだろう。乗換部のデッキのみあれば十分なのではないか。
- ▶ デッキによる回遊性や利便性は無視できないが、地上レベルの歩行動線は視界の抜けや街の認識という観点からも重要である。周辺の街への回遊動線として将来的にも守っていくべきなのではないか。

< 駅前広場における緑について >

- ▶ 緑はせつかく現在ある資源なので、そういったものは残すべきではないか。
- ▶ 現在交通島になっている部分は、無駄なスペースのように思える。その場所をなくしてしまえば、よりフレキシブルな駅前広場の使い方ができるのではないか。
- ▶ 現在の眺めるだけの緑ではなく、芝生広場等のふれられるような緑になるとよいのではないか。

< 藤沢らしさについて >

- ▶ “藤沢らしさ” と言われているものが、ブランディングの観点からは不十分なのではないか。将来的に藤沢駅にどういった層の方に来てもらいたいのかをきちんと考えて、藤沢らしさをより明確で魅力的なものにする必要があるのではないか。